

株主様により満足していただける企業を目指して

ワタミ株式会社 執行役員 経営企画グループ グループ長 山内 博雄



私たちは、株主様はワタミの理念に共感し、共に歩んでいく同志であると考えています。今後もワタミの理念に賛同していただき、また大切なお客さまとしてもグループ事業を支援いただける個人株主様数の拡大のために、積極的な施策を実施してまいりたいと思っております。

2009年度は、3年以上の長期保有の株主様に対して、感謝状と記念品を贈呈させていただき制度を導入いたしました。また、個人投資家様向けのIR説明会や株主様アンケートの実施をすることにより、株主様との対話に努めてまいりました。

2010年度は引き続き個人株主様との対話に努めるとともに、介護事業・高齢者向け宅配事業などの利用代金の一部にも株主優待券を利用できるよう株主優待制度を見直しすることなどにより、今まで以上に株主様にワタミグループを知っていただく施策を実行してまいります。

また、正確な情報をすみやかに開示するとともに、決算説明会および株主総会の動画配信を行うことで、よりわかりやすさを追求してまいります。

主な取り組み		2009年度目標	2009年度結果	評価	2010年度目標	
株主様への取り組み	安定配当の維持	売上（連結）	120,800百万円	115,420百万円	×	130,000百万円
		経常利益（連結）	7,100百万円	6,280百万円	×	7,500百万円
	配当性向	20%を目安とする配当（株主還元※昨年度はこの表現だった）	24.7%	○	20%を目安とする配当（株主還元※昨年度はこの表現だった）	
情報開示	適切な情報開示	グループ「近況報告」の開示（月次）	月次での開示を実施	○	毎月8日までに「近況報告」を開示	

○達成、×未達成、―該当なし

安定配当の維持

ワタミ（株）では、株主様への利益還元を経営上の重要課題の一つと考え、安定配当の維持を基本としながら、業績と財務状況などを鑑みながら実施しています。2009年3月期は通期で20円配当、配当性向は31.4%、2010年3月期は20円配当で24.7%となりました。

また、健全性の高い経営を維持していくために財務の健全性・安定性を確保するとともに、事業特性に応じた投下資本利益率（ROI）や内部収益率（IRR）等の基準を設定し、投資効率を重視した経営を行っています。同時に、資本コスト等の指標も投資配分や事業の拡大・撤退の基準として活用し、資本効率の最大化に努めています。

機関投資家向けに様々な活動を

決算発表の同日に、株式市場関係者・報道機関の方々を対象とした「決算説明会」を実施しています。

決算説明会の内容はワタミふれあいホームページにて動画配信するとともに、その資料の内容も公開しています。

さらに、機関投資家、アナリストの方々に対してスモールミーティングや、IR担当者が機関投資家やアナリストの方を訪問し、決算数値・事業内容について個別にお伝えするワンオンワンミーティングを実施しています。

個人株主様：投資家様向けIR説明会を全国各地で実施

全国の株主様との対話を積極的に行い、今後のワタミグループの経営や事業に反映させることを目的として個人株主様、投資家様向けのIR説明会を実施しています。2010年度は、より多くの株主様にもご参加いただけるよう札幌・水戸・さいたま・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡の全国8カ所で開催、多くの株主様にご参加いただきました。



個人株主様向けIR説明会の様子

株主総会・ワタミ感謝祭に10,240名の方が参加

2010年6月19日（土）両国国技館（東京都墨田区）にて、ワタミ株式会社「第24期定時株主総会」および「ワタミ感謝祭」を開催し、延べ10,240名の株主様・同伴者様および招待者様などにご参加いただきました。当日は「ありがとうをつなぐ日」と題し、日頃の感謝の意をお伝えさせていただくとともに、ワタミグループが1年間「ありがとう」を集める活動として行ってきた事業活動や社会貢献活動のご報告をさせていただきます。

会場では「環境・社会・人にやさしい」をコンセプトにブース展開やパネルディスカッションなど様々なイベントを行いました。（※）
（※）詳しくは「株主様とともに 42ページ」をご覧ください。



ワタミ株式会社「第24期定時株主総会」の様子

株主様によるSAJへの寄付

2005年度の株主総会にて、株主様から「優待券を寄付できる制度を設けては」というご提案をいただき、開発途上国の子どもたちへの活動を行う公益財団法人 School Aid Japan (SAJ) への寄付を制度化しました。

2010年3月には株主様からの寄付によって生まれたカンボジアのトウタル小学校の贈呈式も行われるなど毎年多くの寄付が寄せられており、累計での寄付金額も544万円（2009年度末現在）にのぼっています。



株主優待券の寄付から生まれたSAJ支援122番目のカンボジアのトウタル小学校

2009年の振り返りと2010年の抱負

株主様への情報を伝えやすくするための取り組み

株主様に、よりワタミグループのことを知っていただくために、株主優待制度のご案内に加え、各事業紹介や社会貢献活動などを記載した「株主ふれあい通信」を年2回、半期毎の事業報告・決算報告を記載した冊子をお送りしています。

2009年度は、通期の報告にあたって、ワタミ（株）代表取締役会長・CEOより、それぞれの事業における「思い」や「今後の目標」などを株主様向けの手紙としてお送りしました。



株主ふれあい通信

株主様アンケートの実施

株主様によりご満足いただけるIR活動（投資家向け広報活動）を展開すべく、2010年2月から3月にかけて株主様アンケートを実施させていただきました。

3,000名の方にアンケート用紙をお送りさせていただいたところ、そのうちの45%にあたる1,368通のご回答をいただきました。

ワタミの株式保有理由および優待制度へのご意見など、貴重な声をいただくとともに、ワタミを応援して下さっている株主様の年代・性別などの構成の現状把握を行いました。

そうしていただいた株主様の声に基づき、ワタミグループのサービスをより知っていただくためのきっかけが必要と判断し、2010年下期より株主優待券の利用範囲の拡充を決定。介護事業および高齢者向け宅配事業の代金の一部としてもご利用いただけるように対応する予定です。

イベントテーマ：持続可能な「ありがとう」があふれる社会を目指して

2010年6月19日(土)両国国技館にて、ワタミ株式会社「第24期定時株主総会」および「ワタミ感謝祭」を開催しました。当日は、「ありがとうをつなぐ日」と題し、各ステークホルダーの皆様にご挨拶の意をお伝えさせていただくとともに、ワタミグループが1年間「ありがとう」を集める活動として行ってきた事業活動や社会貢献活動のご報告をさせていただきました。

本イベントには、「創業から25年、小さなことから肩肘はらずにコツコツと一歩ずつ歩んできたワタミグループの姿を伝えるとともに、これからも基本姿勢は変えず、さらなるステージ（「起」から「承」へ）をつなぐ」というコンセプトが込められています。

延べ10,240名の株主様・同伴者様および招待者様などにご参加いただきました。

「ありがとうギャラリー」 ワタミの事業活動・社会/環境貢献活動の歴史

ワタミグループの事業活動の歴史、それと同時にやってきた社会貢献・環境貢献の活動の歴史の歩みをエントランスに展示。ワタミグループの活動は、すべてが理念発であり、すべての活動が理念につながっていることを紹介させていただきました。



「夢シンポジウム」

ワタミ株式会社 代表取締役会長・CEO 渡邊美樹による、「夢シンポジウム」を開催。「夢」を持つことの大切さや、人間の存在対効果などについての講演をさせていただきました。



「ワタミ感謝祭」トークショー

当日は、司会に徳光和夫さん、松本志のぶさん、ゲストコメンテーターとして写真家・関口照生さん、野村克也さんをお招きしてのトークショーを実施しました。



NPO団体の方々をお招きしての パネル紹介・テーマディスカッション

「ありがとう」があふれる社会づくりのために、各分野において日々挑戦しておられる様々なNPO団体の方をお招きし、パネル紹介や展示などを行わせていただきました。また参加者の方との交流の場としてディスカッションを実施、様々なテーマでの意見交換を行うとともに、ディスカッションの最後には、参加者全員の方に「夢カード」をご記入いただきました。

ブース全体テーマ「いのちをつなぐ、未来への道」(※敬称略)

【福祉ブース】
ディスカッションテーマ：「持続可能なバリアフリー社会のために」
参加団体：日本理化学工業株式会社、株式会社ソーケン、
社会福祉法人 進和学園、株式会社 研進、ワタミの介護株式会社

【食・農業ブース】
ディスカッションテーマ：「日本の農業、企業の農業参入」
参加団体：株式会社 有機野菜生産デコボン、
農業組合法人さんぶ野菜ネットワーク、株式会社ワタミファーム

【途上国支援ブース】
ディスカッションテーマ：「持続可能な途上国支援のために」
参加団体：有限会社 ネパルバザーロ、ユナイテッドピープル株式会社、
公益財団法人シーセフ、公益財団法人 School Aid Japan

【環境・森林ブース】
ディスカッションテーマ：「美しい地球を美しいまま子どもたちに残すために」
参加団体：ワタミエコロジー、NPO法人Return to Forest Life、
NPO法人北海道グリーンファンド、NPO法人地球の緑を育てる会、
株式会社 森のエネルギー研究所



「未来の地球を描こう」

当日は、子どもたちに「未来の地球」を描いてもらうスペースを会場内に設置。用紙は、象のウンチを素材としたリサイクルペーパーを使用し、描いた絵をプレゼントさせていただきました。



事業別ブースの展開

外食事業



ワタミ・スイーツ・チャンピオンシップの実施。各業態ごとにデザートの商品開発を行い、販売。一番最初に完売する業態を競いました。

介護事業



ソフト食の試食、健康相談などを実施。

高齢者向け宅配事業



まごころ御膳の紹介や、オリジナルのかけ酢やかけ醤油などを限定販売。

ワタミ特製お弁当の販売

ワタミグループの強みである6次産業のビジネスモデルを活かして、ワタミファームの旬の有機野菜をふんだんに使用した特製のお弁当やサンドウィッチを販売。またワタミタクシヨクの「まごころ御膳」の限定販売も行いました。



授産品代行販売

24施設(授産所)様にブース出店いただき、授産品販売を行いました。



MD事業



親子で楽しめる「食」の体験コーナーの実施(保育園の給食で提供している、クッキング教室のご紹介)。

農業



ワタミマルシェの開催(有機野菜を特別価格にて限定販売)。

環境・メンテナンス事業



ワタミの外食店舗での食物残渣使用の堆肥と種の販売。

キッズコーナー・カリカチュア

キッズコーナーでは、NPO法人コドモ・ワカモノまちing様にご協力いただき、いろいろな素材やおもちゃを組み合わせ、子どもの創造力いっぱいの遊びを発見するコーナーを設けました。また、カリカチュアコーナーではカリカチュアジャパン株式会社様にご協力いただき、似顔絵の作成コーナーを設けました。

